

月刊 AMCP レポート

Vol.14



リタイアメントプラン

【老後資金って1億円も必要なの？】

皆さんは「老後資金」について考えたことがありますか？

標題にある「老後資金 1 億円」というのは十分な金額でしょうか？それとも不足する金額でしょうか？

仮に、男性の先生が 65 歳で勇退し、概ねの平均寿命である 85 歳まで 20 年間生きた場合、1 年当りの金額は 500 万円、月に直すと約 42 万円です。この金額が十分なのか否かについては、それぞれの生活水準によって違うでしょうから一概には言えません。

例えば、住宅ローン等の負債が全くなく、最低限の生活費以外は余裕資金に使える方にとっては十分かも知れませんが、負債が残っていたり、継続的な治療費用がかかったり、趣味(交際費)にお金がかかったりする方にとっては十分ではないかも知れません。

今回お伝えしたいのは、1 億円が高い・安いという話ではなく、まず、『老後に必要になるであろう“支出金額”、そして入ってくるであろう“収入金額”をそれぞれ算出し、その差額をどう手当てするか考えなければいけない』、つまり、『リタイアメントプランニング』が必要ですよ！という話です。

生命保険に加入する際に「ライフプラン(※)」というものを作成してもらったことがあると思いますが(なければ早急にして下さい！)、それと同じ理屈です。長寿リスクを明確にしなければ準備が出来ないということです。

「資金はあればあるに越したことはない！」と聞雲に蓄財・運用に精を出す方もおられますが、老後資金を準備するのは、あくまで「豊かな老後を送るための手段」であることを忘れてはいけません。

財産を持って棺桶に入れる訳ではありませんし、それが目的になってしまうと、どうしても心が荒んでしまいます。また、「幾らあれば大丈夫なのか分からない」というのも精神的に不安となり、手段を目的にしてしまう要因となります。

従いまして、「あるに越した事はない」というのも重々分かりますが、とりあえず「最低限どれだけ準備しなければいけないか？」だけでも知っておきましょうという事です。

今回は、「リタイアメントプラン」を考えるにあたって検討すべきことをご紹介します。

(※)「ライフプラン」とは、将来予想し得る“支出”と“収入”を弾いて過不足金額を明確にするもので、これに基づいて生命保険の見直しを行い、過不足のない必要保障額の生命保険に加入し「万一のリスク」に無駄なく、無理なく備えることが出来ます。

★次回は・・・、「Vol.15」:リタイアメントプラン 【リタイアメントプランにおける検討事項】



をお送りします。

お問い合わせ・ご相談は...

AMCパートナーズ株式会社

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-4-10
Tel:06-6262-2256/Fax:06-6262-2257

<http://www.amcp.biz>

amc-reception@amcp.biz